

令和6年度 第36回九州地区連絡協議会総会を開催して

長崎県支部 吉川 亮 (H8卒)

昨年、鹿児島県で4年ぶりの開催に続き、令和6年度は長崎県で8月3日(土)に第36回麻布大学同窓会九州地区連絡協議会総会が開催されました。

今回、100年に1度と言われる長崎駅周辺の再開発により会場確保に苦慮しましたが、何とか長崎中華街にて開催に至り、当日は酷暑のなか、九州地区全支部から支部長はじめ21名の先生方に参加いただきました。

総会は、小澄正敬会長(熊本県支部長、S51卒)の開会挨拶に先立ち、各県支部会員の物故者の黙祷を行い、挨拶後、来賓の福山守同窓会長、小倉弘明理事長から同窓会、大学の近況を交えた挨拶を頂き、議事に進みました。R5収支決算、R6収支予算案、役員改選及び任期変更の議事は滞りなく承認されましたが、続く支部からの提案2議題では熱い議論が交わされました。佐賀県の千綿先生(H5卒)から公務員獣医師の確保対策について説明が行われると、各県の窮状や取組が次々に報告され、小倉理事長に大学での取組強化が要望されました。続いて鹿児島県の松田支部長(S56卒)から代議員会の対面開催(2年に1回)が要望され、福山同窓会長から同窓会事務局に指示するとの回答をいただきました。各支部からの提案でしたが、小澄会長から九州はひとつとなって取組むことを確認し議題を終了しました。最後に次回開催県の宮崎県から令和7年7月12日(土)開催の報告があり閉会となりました。



九州地区連絡協議会総会会場



小澄会長による開会挨拶



福山同窓会長挨拶



小倉理事長挨拶

懇親会は、長崎県支部から4名の会員が加わり、堤清蔵副会長(長崎県支部長、S51卒)の挨拶と乾杯とともに中華街ならではの料理、紹興酒が提供されました。宴が進むと先輩後輩、役職・世代を超えて談笑の輪が広がり有意義な懇親会となりました。最後に来年度開催県である宮崎県の押川延夫支部長(S50卒)から開催案内と万歳三唱により長崎での宴を閉じました。



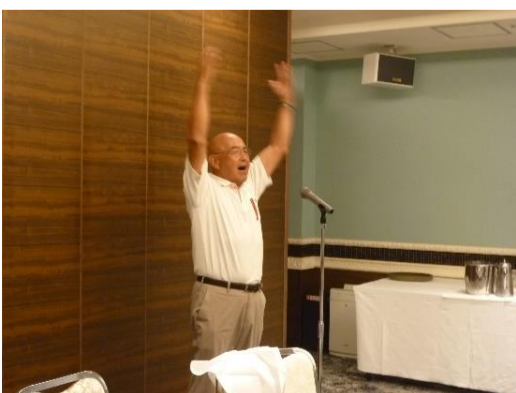
九州地区連絡協議会総会参加者



懇親会 堤副会長による挨拶



懇親会のひとまぐ



懇親会 押川支部長による万歳三唱